しんぶん赤旗 日曜版
日本共産党中央委員会
Webで購読申し込み
月990円(1部250円)
〒151-8586東京都渋谷区千駄ケ谷4の26の7
☎03(3403)6111 www.jcp.or.jp
©日本共産党中央委員会2026年
1952年5月30日第3種郵便物認可
2026年（令和8年）11月15日
日刊通巻第27202号

比例削減ノーで共同を

改憲への独裁の危険

共産党が国民へアピール発表



11・3憲法大行動に1万4000人が参加。「憲法改悪絶対反対」「比例定数削減反対」のコールが響きました＝3日、国会正門前



自民党と日本維新の会、国民民主党が衆院比例定数31削減案で合意し、臨時国会で強行しようとしています。日本共産党は国民に向けたアピール「民意を切り捨て、民主主義の土台を破壊する議員定数削減をやめさせるために力をあわせましょう」を発表（10月30日）しました。

国会議員は主権者・国民の代表。議員定数を減らせば国民の声はますます国会に届きにくくなり、行政をチェックする機能も弱まります。そもそも現行の衆院定数（465）は国際的にも少なく、定数増こそ必要です。

3党合意は、民意を正確に反映する比例を縮小（176→145）させ、小選挙区制中心をいっそう強める大改悪です。

狙いは「自民・維新の議席占有率を上昇させ、独裁政治を進める」ことです。少数政党を排除し、社会保障負担増と大軍拡、改憲などの強権政治を加速しようとしています。

道理のなさに五つある全国紙のうち4紙が社説で「削減ありきの党利党略」（「朝日」）、「党利党略の妥協で決める話か」（「読売」）と一斉に批判しました。

3日の憲法大行動（国会前）で日本共産党の田村智子委員長は訴えました。「高市政権は選挙制度まで変えて独裁的な政治で改憲まで突き進もうとしている。憲法を守りたいという思いを、比例定数削減反対の声と結んで大きく広げていこう」 6、7面で特集

あいさつする田村智子委員長＝3日、国会正門前

小選挙区比例並立制を導入した元首相も



比例削減は間違いだ

「衆議院の選挙制度の改革の方向は比例代表議席の増加であり、今回の定数削減を比例代表の削減で実現しようとしているのは、明らかに方向が違っている」（寄稿）

細川護熙（もりひろ）さん 記事7面



女性・少数者の議席減る

議員の数が削減されると平和・平等・人権の実現がますます遠のきます。比例代表の削減は、女性、若者、社会的弱者などマイノリティー（少数派）の議席数を減少させることになります。

緊急アクションよびかけ人
早稲田大学名誉教授

浅倉むつ子さん 記事7面

今号は11月8日・15日合併号
次の発行は11月22日号


真の名作は時代を選ばない 36

ひと 船越英一郎さん 36


自分の中の若冲 31


TBS「世界遺産」30年続くわけ 30 21

金平茂紀さん メディア日誌 20

着物リフォーム シャツジャケット 黒川 創さん 21


梓澤 和幸さん 16 3歳の兄奪った戦争


政治参加の権利がほしい 17


共産党改定綱領案と私 14 15 はらが瞳さん

10代、20代縛る制限をなくして

人間らしく生きたいから


関脇・藤ノ川関 4

差額ベッド料 払わずすんだ 18 19

維新またまた公金還流 35

消費税一律5%なぜ合理的か 「食料品1%」2年後に増税のワナ 5

イスラエル総選挙 重要な一歩 11

一点集中 当たりに威力


ハチ公はなぜ銅像に 逢坂 冬馬さん 3